

山形県 自家用自動車

第15回定時総会を開催

令和7年度事業報告・収支計算を承認

県自家用自動車協会



平井会長のあいさつ

6月25日、山形県自家用自動車協会平井康博会長の第15回定時総会が、山形グランドホテルにおいて、来賓に高橋勇一山形運輸支局長、塚本高弘山形県警察本部交通部長らを迎え、役員・会員19名出席のもと開催されました。



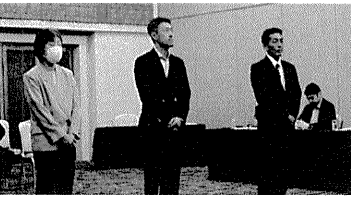
塚本交通部長



高橋運輸支局長

山形県警察本部長(塚本交通部長代読)から祝辞をいただきました。総会は、令和7年度事業報告並びに収支計算承認について審議され、原案どおり承認可決されました。

次に、本総会終了時で役員が任期満了となることから、新たな役員を選定新理事2名の他、理事10名及び監事2名は重任



受賞者のみなさん

そのほか総会では、令和8年度事業計画の報告がなされ、協会は次の3点を活動の重点として自家用自動車に係る交通安全の普及や事故防止の啓発活動に取り組むことを



受賞状況

報告しました。

①迅速、適正な自動車保管場所現地調査

②自動車共済・自賠責共済契約拡大の強化

③行政書士法人、関係機関団体と連携しながら適正な業務推進

また、総会に先立ち、優良整備管理者選任事業所並びに優良整備管理者の表彰を行いました。この

表彰は、山形運輸支局の協力のもと、道路運送車両法に基づき整備管理者を選任している事業所を対象に、昨年度実施した巡回指導で車両の整備管理や交通事故防止への取組が特に優れていた3事業所と優良整備管理者1名を顕彰したもので、高橋山形運輸支局長と平井会長から表彰状と記念品が贈呈されました。受

賞された事業所と整備管理者は次のとおりです。(敬称略)

◆優良整備管理者選任事業所
(社) 牧人寒河江共済育成園(寒河江市、大浦工業(株)(高島町、小国開発(株)(小国町)

◆優良整備管理者
高橋一司(大浦工業(株))

令和7年度収支計算書 令和7年4月1日～令和8年3月31日

(単位:円)

科目	決算額
事業活動収入	
1. 会費収入	20,954,005
2. 事業収入	174,480,428
3. 雑収入	29,402,874
事業活動収入計	224,837,307
事業活動支出	
1. 事業費支出	209,029,022
2. 管理費支出	8,062,227
3. その他事業活動支出	0
事業活動支出計	217,091,249
事業活動収支差額	7,746,058
投資活動収入	
1. 特定預金取崩収入	0
投資活動支出	
1. 特定預金積立支出	3,928,885
2. 固定資産取得支出	6,974,403
投資活動支出計	10,903,288
投資活動収支差額	△ 10,903,288
財務活動収入	
財務活動支出	622,056
財務活動収支差額	△ 622,056
当期収支差額	△ 3,779,286
前期繰越収支差額	45,701,775
次期繰越収支差額	39,172,284

平井会長以下61名

山形県自家用自動車協会第15回定時総会後の業務執行体制は次のとおりです。

◆会長	平井 康博	◆監事	武田 和哲
◆副会長	後藤 完司	◆事務局長	宇野 謙二
◆専務理事	中村 聡	◆山形支部長	片山 導則
◆理事	土屋 敦夫	◆山形支部長	布施 龍司
	小関 眞一	◆山形支部長	海老名 修
	高橋 哲	◆山形支部長	黒坂 健彦
	結城 敦	◆山形支部長	今井 基弘
	我妻 弘一	◆山形支部長	大場 基弘
	迎田 信一	◆山形支部長	
	箱山 繁	◆山形支部長	
	阿部 博	◆山形支部長	

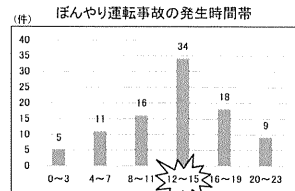
夏の交通事故にご注意を!

「居眠りやぼんやり運転が増加傾向」

7月、8月は暑さや疲れから、死亡・重傷事故に

県警察本部

衝突・単独事故が増加傾向にあります。特に昼食後の午後の時間12時～15時帯に多く発生しています。



※山形県ぼんやり運転による正面衝突・車両追突事故統計(12～15時、7～9月)

夏の交通事故を防ぐポイント

- 暑さによる疲れや睡眠不足に注意!
疲れや眠気を感じたら無理をせず休憩を!
- 速度超過に注意!
「快晴・乾燥路面」はついスピードを出したくなりますが、速度超過は危険がいっぱい! あなたの気持ちにブレーキを!
- 歩行者・自転車に注意!
朝夕の涼しい時間に散歩したり、夏休みで子供たちが外出する機会が増えます。運転中は、歩行者や自転車の動きに注意!
- 旅行などはゆとりをもった計画を!
レジャーシーズンは道路が混雑することがあります。遠出するときは時間に余裕を持った計画を!

令和8年度「道路ふれあい月間」推進標語入選作品が決定!

国土交通省

国土交通省は、毎年8月を「道路ふれあい月間」として、道路の愛護活動や道路の正しい利用の啓発等の各種活動を推進しています。この一環として、令和8年度「道路ふれあい月間」の推進標語を広く一般から募集した結果、全国から2,244作品の応募が寄せられました。

この度、推進標語審査懇談会を開催し、応募作品の中から小学生の部・中学生の部・一般の部の部門毎に、最優秀賞1作品と優秀賞2作品が選出されました。

- ◎ 一般の部(代表標語)
「続け未来に地域の道
- ◎ 中学生の部
「安全に渡れば次に繋ぐ道」
- ◎ 小学生の部
「夕暮れの一歩星は反射板」
- ◎ 中学生の部
「未来までつないでいこう道しるべ」
- ◎ 一般の部
「人々の生活ぐらしの中に生きる道」
- ◎ 小学生の部
「過積載道路が痛い泣いてるよ」

別表「子どもと高齢者の交通事故防止・飲酒運転の撲滅」推進事項
～ 交通事故のない楽しい夏を ～

区 分	推 進 事 項
運転者 職 場	1 車に乗ったら「全席でシートベルト着用（6歳未満の幼児等はチャイルドシート）」を徹底しよう。 2 「前後左右、目配り運転」で安全運転、一時停止はしっかり止まってはつき確認しよう。 3 横断歩道を渡るうとする歩行者がいるときは、必ず一時停止して、手振りで横断を促そう。 4 暑さによる「ぼんやり運転」に注意し、疲れや眠気を感じる前に、早めに休憩しよう。 5 飲酒運転は「しない、させない、許さない」を徹底しよう。
自転車 歩行者	1 交通ルールを守り、自転車はヘルメットを着用しよう。 2 定期的に点検・整備を実施している安全な自転車を利用しよう。 3 自転車損害賠償責任保険等に加入して自転車の事故に備えよう。また、保険等の有効期限を確認し、忘れずに更新しよう。 4 自転車は、暗くなったら必ずライトを点灯しよう。 5 夕方からの外出時は、反射材用品や明るい目立つ色の服を身につけよう。 6 信号機のない横断歩道を渡るときは、手をあげて横断の意思表示をし、停止した運転者には、お辞儀や手振りなどで謝意を伝えよう。（「交通安全ありがとう運動」推進中）
家 庭 学 校 地域等	1 「交通安全は家庭から」毎日、家庭で事故防止の声掛けをしよう。 2 地域の狭い道路では、速度を落とし、子どもと高齢者を守ろう。 3 交通ルールを守り、車道への飛び出しは絶対にしない。 4 夜間に外出する家族には、反射材用品や明るい目立つ色の服を身につけさせよう。

令和8年度「明るいやまがた」夏の安全県民運動が、7月21日（火）から8月20日（木）までの1ヶ月間実施されます。

本運動は、夏は長期休暇や暑さによる気のゆるみや疲労、海や川でのレジャーの機会が増えることなどから交通事故や水の事故等が多くなり、また、青少年の非行や身近な犯罪等も多くなる傾向にあることから、これらの事故を防止するとともに、

青少年の健全な育成を図るため、県民総ぐるみの運動を推進し、安全で明るいやまがたを創ることを目的に実施されるものです。

運動の重点は、「青少年の健全育成」といじめ・非行及び犯罪被害防止」、「子どもと高齢者の交通事故防止・飲酒運転の撲滅」、「海・山・川での事故防止」、「特殊詐欺や盗難等の身近な犯罪等の防止」の4点となっています。

なお、県は、本運動を広く県民に広報するとともに、県民総ぐるみの運動となるよう機運の醸成を目的として、7月21日（火）午前10時から山形県庁講堂において出発式を行います。

運動期間中、シートベルト及びチャイルドシート・ヘルメット着用指導の強化や「帰省車」者に対する「安全ドライブの呼び掛け」などが行われます。

主要推進事項のうち、

「明るいやまがた」夏の安全県民運動

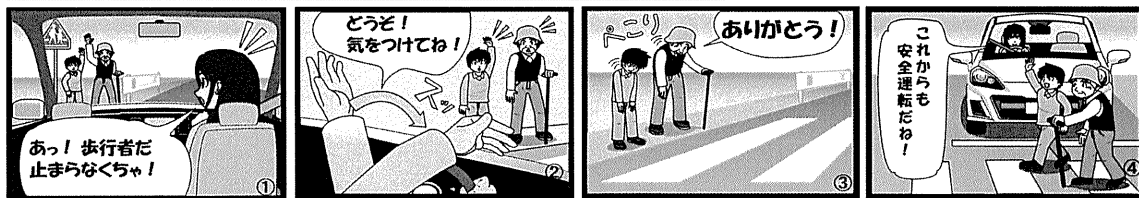
7月21日から8月20日まで

山形県

子どもと高齢者の交通事故防止・飲酒運転の撲滅の推進事項は別表のとおりです。

交通安全

「交通安全ありがとう運動」推進中！



①横断者は、横断の意思を伝えよう

②運転者は、必ず止まって横断者をうながそう

③横断者は、感謝の気持ちを伝えよう

④「交通安全ありがとう運動」推進中！

後退時の安全性を高めるライト、装備可能に！

保安基準が改正されました！

国土交通省

国土交通省は、令和8年6月4日付で道路運送車両の保安基準を改正し、自動車の後退時に路面へ図柄を投影して注意喚起を行う車両後退表示投影装置の装備を可能としました。歩行者や自転車利用者に対し、後退中であることを視覚的に知らせることで、安全性の向上が期待されます。

対象となるのは四輪自動車などで、二輪車や三輪車など一部車両は除かれます。公布施行はいずれも令和8年6月4日で、一部規定は令和9年4月1日から適用されます。

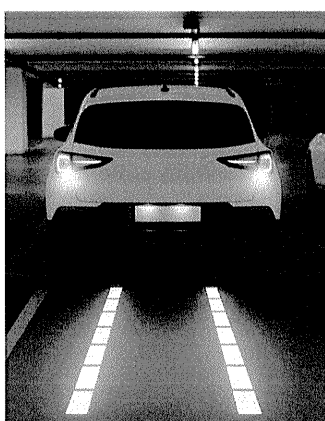


図1 色・形状のイメージ

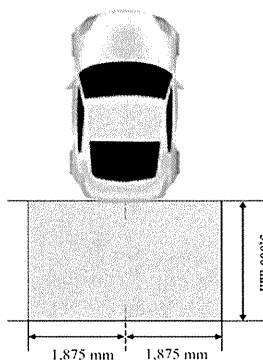


図2 投影可能な範囲

主な要件	
作動条件	後退灯の点灯時
色・形状等	白色の長方形を組み合わせた表示を最大2セット（図1参照）
投影可能な範囲	自動車後方の路面の一定範囲（図2参照）
光度	路面に照射する光の光度は12,000cd以下ただし、雨天時においては、路面からの反射による眩しさを低減するため、自動的に消灯又は光度を8,000cd以下に低減

交通事故統計から見える最新の傾向（2025年）

交通事故総合分析センター

ITARDA（交通事故総合分析センター）が公表した2025年の交通事故統計によると、交通事故数は287,023件、死亡事故は2,495件といずれも前年より減少しました。しかし、死亡・重傷事故の割合は2014年以降上昇傾向にあり、事故の深刻化が課題となっています。

事故発生場所では、市町村道が128,591件（全体の約4割）と最も多く、特に市街地の信号無交差点や単路での発生が目立ちます。生活道路で

ITARDA（交通事故総合分析センター）が公表した2025年の交通事故統計によると、交通事故数は287,023件、死亡事故は2,495件といずれも前年より減少しました。しかし、死亡・重傷事故の割合は2014年以降上昇傾向にあり、事故の深刻化が課題となっています。

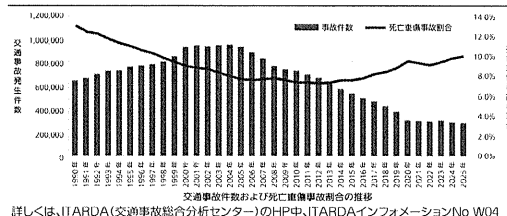
事故発生場所では、市町村道が128,591件（全体の約4割）と最も多く、特に市街地の信号無交差点や単路での発生が目立ちます。生活道路で

死亡・重傷事故の割合は2014年以降上昇傾向にあり、事故の深刻化が課題となっています。

事故発生場所では、市町村道が128,591件（全体の約4割）と最も多く、特に市街地の信号無交差点や単路での発生が目立ちます。生活道路で

死亡・重傷事故の割合は2014年以降上昇傾向にあり、事故の深刻化が課題となっています。

事故発生場所では、市町村道が128,591件（全体の約4割）と最も多く、特に市街地の信号無交差点や単路での発生が目立ちます。生活道路で



詳しくは、ITARDA（交通事故総合分析センター）のHP中、ITARDAインフォメーションNo. W04「[WEB版]統計表データから見る2025年交通事故の特徴」をご覧ください。

☆5月総合計1.3%増（2ヶ月連続増加）

東北運輸局

5月の県内新車新規登録・届出数

山形県の5月における新車新規登録・届出数は、総合計3,399台で前年同月比1.3%増と2ヶ月連続の増加となりました。

○登録自動車も合計で4.0%増と2ヶ月連続の増加となり、乗用車全体でも4.7%増と2ヶ月連続の増加となりました。うち普通車は6.0%増、小型車は3.0%増と共に2ヶ月連続の増加となりました。貨物車全体では4.1%増と9ヶ月連続の増加、一方でその他のバス、

特種等は22.2%減と2ヶ月連続の減少となりました。

○軽自動車は2.4%減と3ヶ月連続の減少となりました。

2ヶ月連続の増加となりました。貨物車全体では4.1%増と9ヶ月連続の増加、一方でその他のバス、

別表 5月新車新規登録・届出数

登録自動車	乗用	普通	8年5月	前年同月	増減	率
			975	920	55	6.0
	小型	計	717	696	21	3.0
			1,692	1,616	76	4.7
	貨物	計	228	219	9	4.1
			35	45	▲10	▲22.2
	その他	計	1,955	1,880	75	4.0
			1,400	1,434	▲34	▲2.4
	軽自動車	計	44	43	1	2.3
			3,399	3,357	42	1.3

注1) 乗用車・普通は3ナンバー、乗用・小型は5ナンバー、貨物車は1又は4ナンバー、その他はバス、特種用途車等である。
2) 軽自動車については、軽自動車検査協会調べの速報値